

| Title | 語文 第53·54輯 編集後記/奥付 |
|--------------|------------------------------------|
| Author(s) | |
| Citation | 語文. 1990, 53-54 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/68813 |
| rights | |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

編集後記

▽お届けする今回の「語文」は、ご覧のように五十三・五十四輯の ○ お届けする今回の「語文」は、ご覧のように五十三・五十四輯の を対象することにし、その文学・語学に関する論考をまとめる ことにしました。この主旨に賛同して、御助力下さいましたまとを あらためて心から深謝いたします。 一相談したのですが、結局もっとも中心として御研究されてきた中 相談したのですが、結局もっとも中心として御研究されてきた中 相談したのですが、結局もっとも中心として御研究されてきた中 を対象することにし、その文学・語学に関する論考をまとめる ことにしました。この主旨に賛同して、御助力下さいました執筆 者各位に御礼を申します。 ○本誌は、三月と九月の年二回発行です。御投稿なさる方は、それ にあわせて、四カ月前には原稿をお寄せ下さい。 (伊井 春樹)

行者 大阪大学国語国文学会案,大阪大学国語国文学会平成二年三月二十日 発行平成二年三月二十日 発行

語文

第五十三・五十四合併号

電話 (〇六)八四四—一一五一振替中座大阪四—二四六四一代表信多純一

大阪大学文学部国語国文学研究室

印

刷

図書印刷 同朋舎